保護者各位

伊那市長　白鳥　孝

麻しん風しん混合（MR）定期予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。予防接種はお子さんを病気から守るため、また周りへの感染症の拡大を防ぐために必要なものです。予防接種の目的や内容をよく理解した上で、お子さんの体調の良い時に受けましょう。

1　対象年齢・接種回数

第１期	１回	１歳の誕生日の前日から２歳の誕生日の前日まで
第２期	１回	５歳から７歳未満で小学校就学前の１年間（４月から翌年の３月 31 日まで）

2　接種場所

別紙「予防接種協力医療機関」麻しん風しん混合に〇印のある医療機関

※医療機関に予約をしてから接種してください。

3　持 ち 物

予防接種予診票（伊那市発行のもの）・母子健康手帳

4　費　　用

無料（公費負担）※対象年齢を過ぎると実費になります。

将来、家庭や職場で
感染しない・させない
ことが重要です。

裏面をご覧ください

5　予防する病気

麻しん （はしか）	麻しんウイルスの空気感染、飛沫感染、接触感染で感染します。 潜伏期間は約 10～12 日です。かぜのような症状とともに 38℃以上の発熱が 3～4 日続きます。一時、おさまりかけたと思うとまた 39～40℃の高熱となり、全身に発疹がでます。高熱は 3～４日で解熱し発疹も消えていきますが、しばらく色素沈着が残ります。主な合併症では、肺炎、中耳炎、脳炎が報告されています。 海外における流行が報告されており、海外で感染し日本に持ち込まれる事例も報告されています。
風しん	風しんウイルスの飛沫感染で感染します。 潜伏期間は２～３週間で、症状は発熱、発疹、頸部リンパ節腫脹です。予後は比較的良好です。主な合併症は、血小板減少性紫斑病、脳炎などの報告があります。 **妊娠初期に風しんウイルスに感染すると、胎児に感染し、先天性風しん症候群（難聴、先天性心疾患、白内障、及び網膜症等）が高い確率で発生します。**

6　予防接種の効果

１回の接種で、95%以上の方は免疫を得ることができますが、ワクチンの効果がなかった場合やワクチンによって得られた免疫が持続しなかった場合を防ぐために、２回接種が行われるようになりました。２回接種することで、99%以上の方が免疫を得ることができ、長く持続します。

麻しんに効果的な予防方法は予防接種です。ワクチンは２回受けることが重要です。

7　ワクチンの副反応

主な副反応は、発熱と発疹です。特に１回目の接種後約７～12 日に多く見られ、２回目以降の接種では、割合が減少します。その他の副反応として、接種部位の発赤、腫れ、しこりなどの局所反応、じんましん、リンパ節の腫れ、関節痛などの全身反応がみられます。まれに、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどの重篤な副反応が生じる可能性があります。（令和７年１月第 105 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料より）

8　接種上の注意

- 病気の治療等で、輸血又はガンマグロブリンの注射を受けた方は、ワクチンウイルスの増殖が妨げられる恐れがあるため、３ヶ月もしくは６ヶ月は接種が出来ませんので、主治医にご確認ください。
- 麻疹又は風疹にかかったことがある方も、麻しん風しん混合ワクチンを接種することができます。
- かかっていない方のワクチン（単抗原ワクチン）を接種することもできます。ご希望の方は予防接種予診票を交換いたしますので、伊那市役所健康推進課予防係までご連絡ください。

R8.4.1

<お問合せ先>伊那市役所健康推進課予防係　電話０２６５－７８－４１１１　内線２３３２